

能遊池邊玩水

熊本地本
公式HP

熊本地本
公式Twitter



令和4年度自衛隊熊本地方協力本部本格始動

当日は、本部長以下地本部員の意気込みが届いたのか、解禁数日前に熊本県の梅雨を吹き飛ばし朝から雲一つない心地よい朝の通学時間にJR熊本駅、上熊本駅等を利用する学生に対し、募集活動を実施しました。

新型コロナウイルスス新規感染者が一定数ある中での広報ではありましたが、油断せず本部長以下全員マスク着用、人との距離を保ちつつ手袋を付けてのチラ



、県内各地において募集活動、

シ配りを行いました。顔全体が見えない分、常に笑顔と明るい声で接するよう心掛けた結果、配布した際には学生から「暑いのに大変ですね、頑張ってください」などの激励や「今年進学か就職か迷っているので参考にしたい」などの話を聞くことができ、募集対象者等に対して、自衛隊の認知度を向上させるとともに、自衛官募集をアピールすることができました。



切通一曹（熊本所）

宇城募集案内所

熊本県と協力して自衛官募集をPR！！ ～令和4年度熊本県自衛官募集会議～

6月2日(木)熊本県が主催する令和4年度熊本県自衛官募集会議へ参加するとともに、部隊研修を実施しました。

熊本県自衛官募集会議は、自衛官募集事務を行う県内市町村職員及び募集相談員の参加者81名に対して、募集業務及び自衛隊に関する概要説明を実施し、自衛官募集に係る認識の共有を図るとともに各自治体等と自衛隊との関係の維持強化を目的として実施され、今回は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ、3年ぶりに熊本県庁で開催されました。

最初に県庁の担当職員から募集事務の状況についての説明があり、その後熊本地本が自衛隊の任務及び各種活動紹介、自衛官募集の案内及び募集事務の事務処理要領等について説明を実施しました。



終了後、健軍駐屯地において施設と装備品見学を実施しました。施設見学においては、西部方面指揮所訓練支援隊の支援を得て、大規模災害対処に係る指揮所活動の訓練についての説明を受け、装備品見学においては、災害派遣時に使用する人命救助セット等の装備

品やヘリコプター映像伝送装置等の各種車両を見学しました。

研修を終えて、市町村職員からは「自衛隊が常日頃から大規模災害が発生したことを想定して訓練している場面を拝見し、職員としてとても心強く、感謝しています。充実した研修に参加できて良かったです。」との感想や、募集相談員からは「今回の研修を通して知り得た知識を活用して、自衛隊に興味のありそうな学生等に受験を提案しやすくなる。」等の言葉を頂きました。

今後も様々な機会を通して、自衛隊に関する理解促進と更なる募集基盤の拡充を図るため、熊本県をはじめ各自治体そして募集相談員との緊密な連携を強化していきます。



郷土の生徒たちに魅力をアピール パイロットからのエール

六月十四日(火)から六月十七日(金)の間、山鹿市内の中学校5校に対して、現役パイロットによる「職業体験講話」を実施しました。昨年に引き続き、将来進路を選択する生徒たちの選択肢の一つになればという思いから本講話を企画し、地域の自衛隊に対する理解促進を図りました。

講話では、地元の出身で空自の現役パイロット信岡二等空尉(小牧基地四〇一飛行隊所属)を講師として迎え、自衛隊の魅力・やりがいやPRするとともに親近感の醸成を図りました。

信岡二等空尉は、自衛隊の概要や空自ならではの豊富な専門職域と魅力、パイロットになるまでのキャリアプランを紹介し、また任務を達成するために、パイロットのみならず管制官、整備員、警備員など航空機の運航に携わる全ての隊員の連携・協力の必要性和チームワークの大切さを自己の体験談を踏まえて説明しました。さらには、「誰にでもパイロットになれるチャンスはある。何事も諦めず目標に向かって挑戦

してほしい。」と生徒たちにエールを送りました。生徒たちはパイロットスーツを身にまとった信岡二等空尉の姿に目を輝かせながら体験談に聞き入っていました。

講話終了後、生徒たちから「将来の進路・就職選択の参考になった。」「知らなかった分野の話に興味を沸かした。」「自分の夢に向かって挑戦したい。」などの感想も聞かれ、有意義な時間となりました。

また、感染対策を万全にし、学内での密接を避け、各種活動を行いました。



大学キャリアセンター職員等に対して 自衛隊をPR！！

5月11日(水)、熊本県内の大学・専門学校キャリアセンター職員等5名を健軍駐屯地に招へいし、キャリアセンター職員等に対する研修を実施しました。

本研修は、大学・専門学校の就職に関する相談役であるキャリアセンター職員に対して、自衛隊に関する概要説明及び部隊研修等を実施することで、職業の一つとしての自衛官を認知して頂くとともに自衛隊と大学・専門学校との関係の構築と連携を目的として、熊本地本では初の試みとして企画したものです。

前段では、健軍駐屯地内の広報館を訪れ、陸上自衛隊のあゆみや西部方面隊の任務について、展示資料等の見学を実施しました。その際、各学校の担当広報官等が参加者に対して、エスコートを行い懇切丁寧な説明を実施しました。その後、今春の入隊者が教育を受けている新隊員教育隊において、野外救急法の訓練を見学し、参加者は教官の説明に熱心に耳を傾けていました。引き続き、第5地対艦ミサイル連隊に配備してある12式地対艦誘導弾を見学、装備品の大きさに参加者は一様に驚かされていました。

後段では、自衛隊の任務や職種及び魅力ややりがいについて説明後、学生等が自衛官に志願する手続きや入隊後の教育内容及び自衛官としてのキャリアプラン等、自衛隊を学生等の就職先のひとつとして認識していただくための説明を実施しました。またリクルータ隊員を交えての懇談においては、様々な話題に対して活発な質問を受けました。特にリクルータ隊員が入隊前の自衛隊に対する厳しそ



五月二十八日(土)、航空自衛隊芦屋基地において開催された「芦屋基地ランウェイウオーク」へ募集対象者及びその保護者を招待しました。当日は晴天に恵まれ、参加者4名は地上展示されているT-4練習機や救難消防車、ペトリオット車両などを見学し、説明員に積極的に質問し、記念撮影を行っていました。

その後は、ランウェイウオークに参加し、総距離約2キロメートルのひたすら真つすぐな道を周囲の景色を眺めながら歩き、時折吹く涼しい潮風を全身に浴びつつ約1時間かけランウェイを満喫しました。

参加者からは、「熊本県内ではなかなか見ることができない航空機を見て興奮しました。大学では航空機を整備を行っており、航空自衛隊に対して非常に興味を沸かした。」「普通の生活では絶対に味わえない非常に貴重な経験ができた。」などの声があり自衛隊への理解の促進と志願意欲の向上を図ることができました。

また、厳しい募集環境においても、広く自衛官の魅力や達成感、目標の達成に尽力していきま



航空自衛隊芦屋基地

うなイメージと入隊後の実態の違いについて語る場面や、参加者からの隊内生活についての多種多様な質問が印象的であり、充実した懇談ができました。その他にも多くの質問を受け、参加者の自衛隊に対する関心が向上しており、今後大学・専門学校から多くの志願者を獲得できる期待を感じました。

研修を終えて、キャリアセンター職員等からは「実際に現場を見てみることで今後、進路指導の現場や学生などからの自衛隊に関する質問に対応することができます。充実した研修に参加できて良かったです。」「今回の研修を通して知り得た知識を活用して、学生等に受験を提案しやすくなる。」等の言葉を頂きました。

今後も様々な機会を通して、自衛隊に関する理解促進と更なる募集基盤の拡充を図るため、大学・専門学校の就職に関する相談役であるキャリアセンター職員との緊密な連携を強化していきます。

採用予備自衛官補辞令書交付式
～それぞれの志を持って！予備自衛官への第一歩！～

令和4年7月2日（土）、北熊本駐屯地「北熊館」において、7月1日付で採用された予備自衛官補の辞令書交付式を実施しました。

予備自衛官補制度とは、主として自衛官未経験者を予備自衛官補（一般・技能）として採用し、一般3年以内に50日、技能2年以内に10日の教育訓練に参加し、必要な知識・技能を修得した後、予備自衛官として任用される制度で、近年では令和2年の新型コロナウイルス感染拡大防止や熊本豪雨災害に係る災害派遣活動において予備自衛官補出身の予備自衛官が活躍したことから注目されている制度です。

当日は、一般13名、技能1名のそれぞれの区分で採用された予備自衛官補が辞令書交付、宣誓、本部長講話、制度説明、体験喫食等に参加しました。



辞令書交付式の予行では、初めての自衛隊の行動に戸惑い、緊張している様子がうかがえたが、いざ本番では皆一様に初めてとは思えないきびきびとした動作を見せていました。

また、本部長から各人に辞令書が手渡しされ、一人一人に「よろしくお願いします。」と声をかけられると、さらに引き締まった表情になり、続く「宣誓」では全員でしっかりと口調で宣誓書の文言を読み上げるなど、意識の高さを感じられました。

引き続き「自衛隊の概要」について本部長講話が行われ、皆、これまで知らなかった自衛隊の活動の話に真剣なまなざしで興味深く耳を傾けました。

すべての行事が終了し、参加者の一人は「今日、教育訓練の日程表をいただいたので、早く参加し、様々な経験をしたい。」と話していました。

今後も、予備自衛官補の方々との親身な教育訓練の出頭調整等に努め、「一日でも早く、一人でも多く」予備自衛官が誕生するよう努めていきます。

退職自衛官を採用して

会社名：臼杵運送株式会社
熊本配送センター

役 職：支店長

氏 名 吉 本 正 美 様



1、企業の概要

弊社は大分県に本社を置き、社員数1,078名、車両台数1,282台、営業倉庫を擁しており全国23拠点のネットワークを活かした貨物運送事業、通関業務を営み、多数の荷主様の商品を内航フェリーや鉄道運送を活用したモーダルシフトを推進することで、環境活動の取組に寄与しています。

又、安全品質第一の取組としてISO9001の認証取得、安全優良事業所取得、グリーン経営取得を行い、『安全品質・コンプライアンス・環境負荷低減』を強化してお客様に信頼され社会に貢献できる企業を目指して日々努力しております。

2、退職自衛官採用の理由

当熊本配送センターにおいては、サントリー九州熊本工場の業務の一部を請け負っており、お客様からお預かりした商品をお客様の元に品質を担保しお届けするという非常に重要な業務を行っております。工場業務においては、安全・品質を担保すべき様々なルールがあり、退職自衛官の皆様におかれましては、業務を実直にこなす真面目さと責任感を持ち合わせており、弊社も安心して職務をお願いできる方々と信用し採用させて頂いております。

3、退職自衛官の職務内容

主な職務内容は、フォークリフトによる荷役作業を担っております。一步間違えば重大な事故に繋がりがかねないフォークリフトを、安全確実に操作して頂き業務に精励されております。

又、自衛隊で培われた誠実さと責任感を堅持しておられ、当社の企業理念の一つである『安全は最大の顧客満足である』を実践されており、我が社の大きな戦力として活躍しております。

各 事 務 所 で 活 躍 の リ ク ル ー タ 紹 介

所名	期間	階級	氏名	部隊名	所名	期間	階級	氏名	部隊名
熊本	6/1～6/30	陸士長	徳永 康紀	12普通科連隊	菊池	6/1～6/30	1等陸士	中野 陽香	308普通科直接支援中隊
	6/1～6/30	1等陸士	古田 朱音	101特科直接支援隊		7/1～7/31	1等陸士	奥村 大樹	8通信大隊
	7/1～7/31	陸士長	立石 大倭	8通信大隊		7/1～7/31	陸士長	小椋 晴翔	8後方支援連隊
	7/11～7/31	陸士長	吉村 優奈	8後方支援連隊		8/1～8/31	陸士長	浜谷 仁	12普通科連隊
	8/1～8/26	1等空士	中島 祭華	12飛行教育団	八代	7/1～7/31	陸士長	早川 沙希	102基地システム通信大隊
	8/1～8/31	空士長	井上 優	5高射群19高射隊	水俣	6/6～6/10	3等陸曹	山内 弦	8施設大隊
	8/1～8/31	1等陸士	大島 奈緒子	302中枢交換通信中隊		5/28～6/30	空士長	立川 雄基	56警戒隊
宇城	7/11～8/7	空士長	星本 望光	2補給処	人吉	7/4～7/15	1等陸士	原 愛	西部方面輸送隊
	8/1～8/12	陸士長	中嶋 竜也	西部方面無人偵察機隊	天草	6/1～6/30	陸士長	大久保 孝志	41普通科連隊
玉名	6/1～6/30	陸士長	半澤 康太朗	41普通科連隊		7/1～7/31	1等陸士	高田 亮	42即応機動連隊
	6/1～6/15	1等陸士	岡本 卓也	43普通科連隊		7/1～7/31	空士長	森田 永遠	11飛行教育団
	6/1～6/30	1等陸士	中尾 比菜	106全般支援大隊	阿蘇	6/1～6/17	海士長	渡辺 和樹	4整備補給隊
	7/1～7/31	陸士長	木村 幹太	西部方面無人偵察機隊		7/7～7/15	陸士長	岩下 瑠希	1水陸機動団
山鹿	7/1～7/15	1等陸士	森 愛菜	西部方面特科連隊		7/14～8/10	陸士長	佐藤 凜樹	15後方支援連隊
	7/15～7/22 8/12～8/19	1等陸士	富田 玲菜	西部方面情報隊					





自衛官募集



航空機体験搭乗



音楽演奏会



艦艇見学



各地域イベント



自衛官採用説明会



イベント情報・プレゼント企画 SNSにて発信中!



自衛隊熊本地方協力本部

☎ 860-0047 熊本市西区春日2丁目10-1
☎ 096-297-2051



「Twitter」



「HP」



「Instagram」



「募集HP」